

甲府商工会議所

需要動向調査結果(令和4年度12月報告)

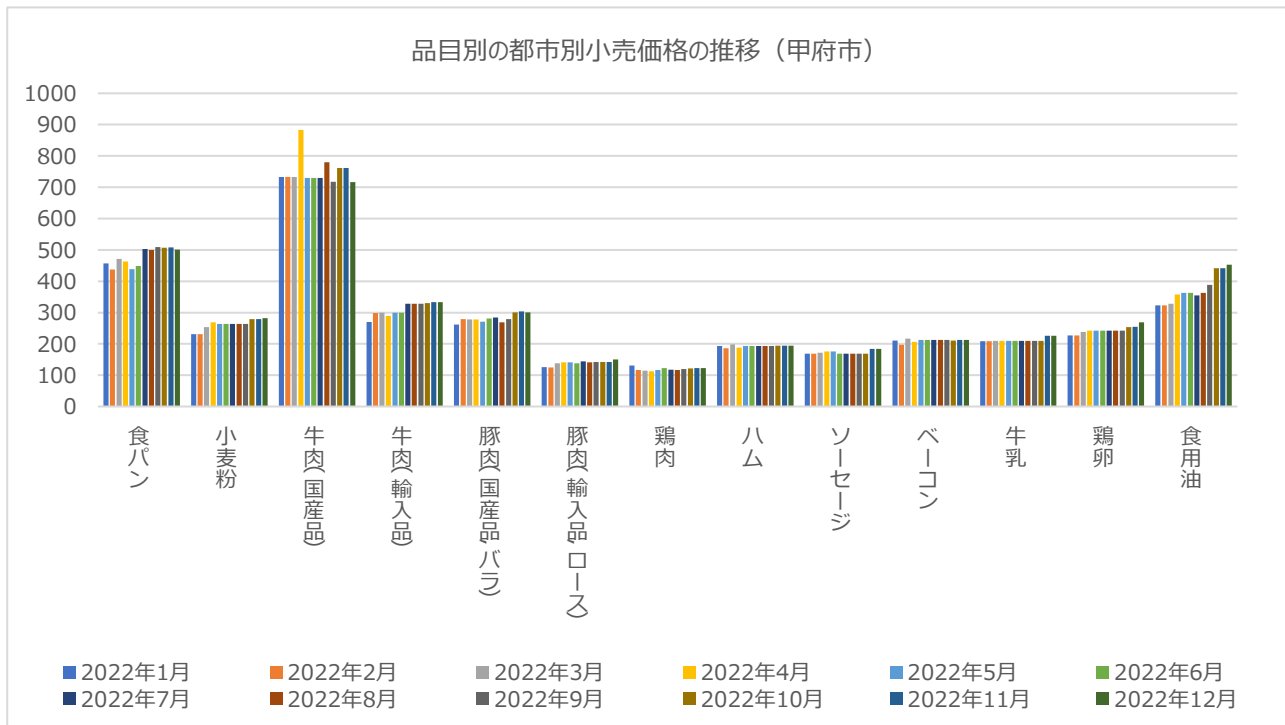
目次

1. 品目別の都市別小売価格の推移	1
2. 県庁所在地別1世帯あたり支出金額の順位比較	3
3. 山梨の土産品(特産品)商品別販売動向	4
4. まとめ	6

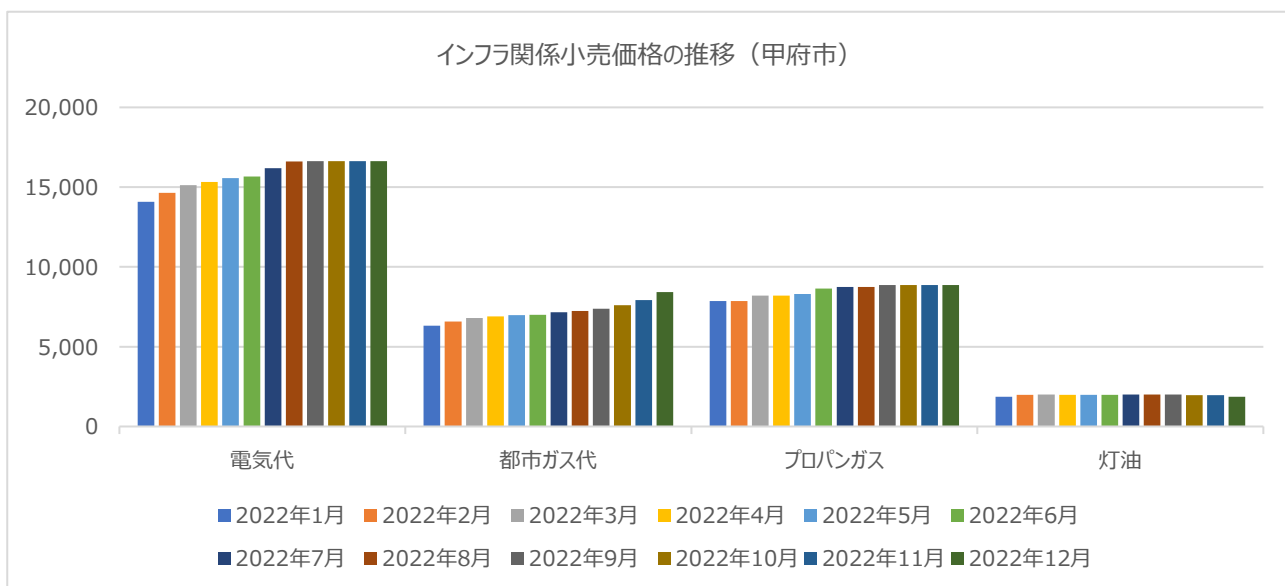
1. 品目別の都市別小売価格の推移

甲府市における品目別の2022年1月から12月の小売価格の推移調査では、食パン、小麦粉、牛肉（輸入品）、豚肉（国産、バラ）、豚肉（輸入品、ロース）、ソーセージ、牛乳、鶏卵、食用油について価格の上昇傾向がみられる。特に食用油については、12月の価格は対1月比140%となっており、著しい価格上昇がみられる。

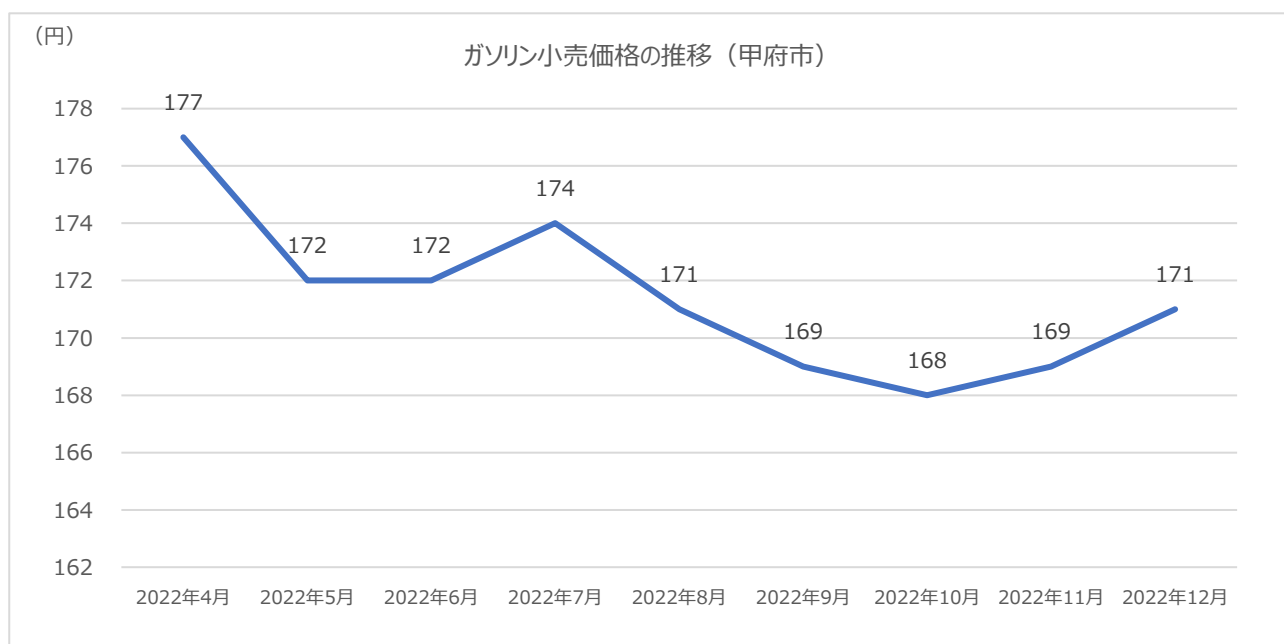
出典：小売物価統計調査 小売物価統計調査（動向編）



また、インフラ関係では、電気、都市ガス、プロパンガスに上昇傾向がみられる。灯油については、価格は維持されている（政府の補助金の効果と考えられる）。



甲府市におけるガソリンの小売価格については、価格の上昇は抑制されていると見ることができる。これも、政府の補助金の効果と考えられる。



2. 県庁所在地別 1 世帯あたり支出金額の順位比較

県庁所在地に川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市を加えた 52 都市における 1 世帯あたり支出金額の順位について、2022 年の四半期ごとの順位を比較した（家計調査では 9 月期まで公表されている）。

まぐろの支出は常に上位となっており、他県に比べて支出金額が高いことが分かる。牛肉は常に順位が下位となっている。

ぶどうは 1-3 月期、4-6 月期は全国最下位レベルであったが、7-9 月期では全国トップの支出金額となっている。桃については、家計統計には 1-3 月期のデータはがない（出荷がないと考えられる）が、4-6 月期では 5 位、7-9 月期では 3 位と支出金額は上位となっている。

ケーキの販売金額は 7-9 月期で順位を大きく上げている。

清酒は徐々に順位を下げており、7-9 月期では全国で最下位レベルとなっている。一方でワインは徐々に順位を上げており、7-9 月期では 16 位となっている。

外食では、飲酒代が徐々に順位を下げ、7-9 月期では全国最下位となっている。

ハンバーガーは常に上位に位置しており、7-9 月期では 4 位となっている。

○県庁所在地別 1 世帯あたり支出金額の順位

対象都市：52 市（県庁所在地＋川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市）

※青網掛けは半数より上位

購入品	2022 年		
	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期
まぐろ	3 位	3 位	4 位
牛肉	40 位	44 位	42 位
ぶどう	51 位	52 位	1 位
桃	—	5 位	3 位
ケーキ	46 位	45 位	17 位
清酒	24 位	31 位	49 位
ワイン	38 位	18 位	16 位
鮪(外食)	42 位	46 位	28 位
焼肉(外食)	51 位	31 位	34 位
喫茶代(外食)	18 位	22 位	9 位
飲酒代(外食)	30 位	47 位	52 位
ハンバーガー(外食)	16 位	15 位	4 位

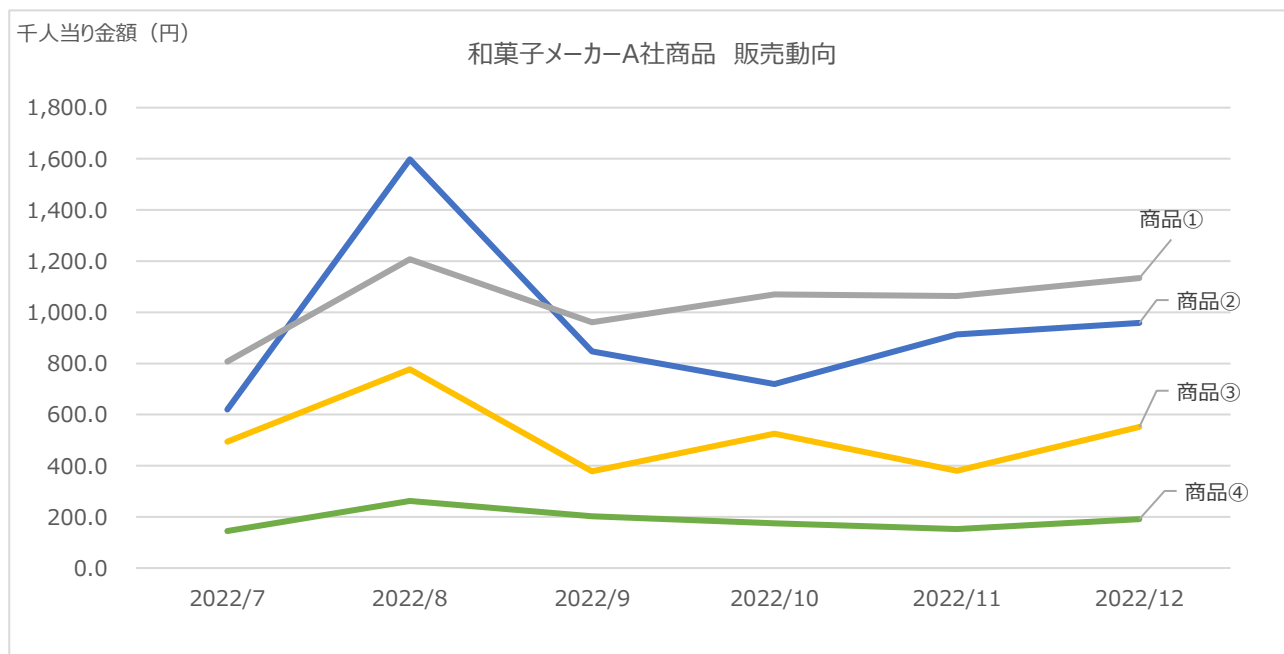
出典：家計調査

3. 山梨の土産品（特産品）商品別販売動向

POSEYES データを用いて、土産物として購入されると思われる商品の販売傾向を調査した。

○和菓子関係

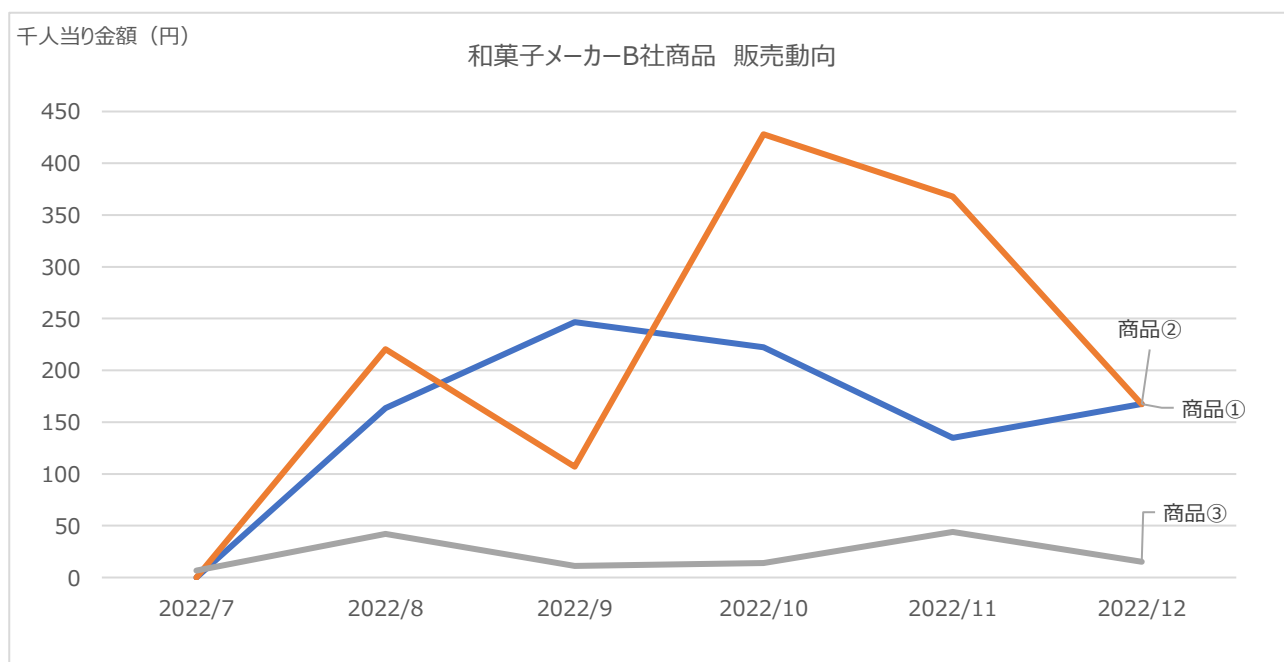
山梨県の土産品としてよく購入される和菓子メーカーA社の商品については、いずれの商品も8月の販売額が最も大きくなっている。9月以降は大きな変動は見られない。



和菓子メーカーB社の和菓子関連商品については、6個入り商品の「商品②」について、9月に販売額が落ち込んだものの、10月に大きく販売額を伸ばしている。

和菓子メーカーA社の商品に比べて、販売額の変動が大きい。

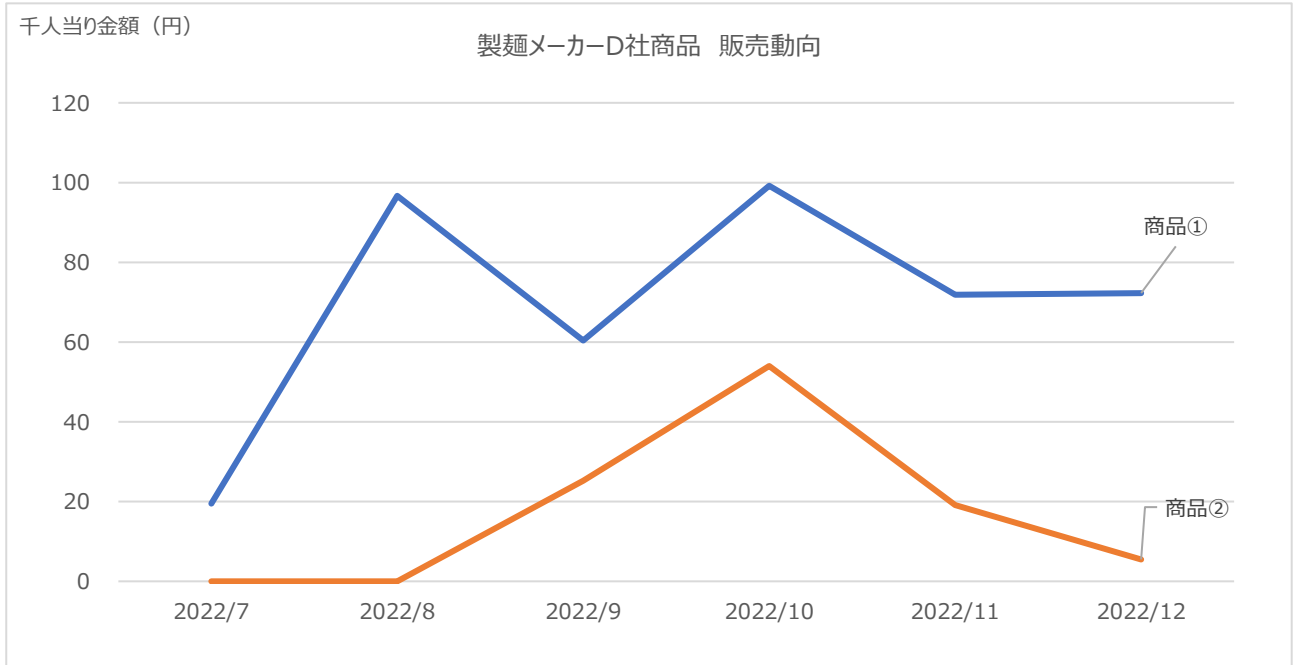
商品③については、一貫して販売額が少ない状況に変化は見られない。



○製麺関係

製麺メーカーD社のほうとう関連商品については、定番のほうとう商品である「商品①」について、変動はみられるものの堅調な販売額を維持している。

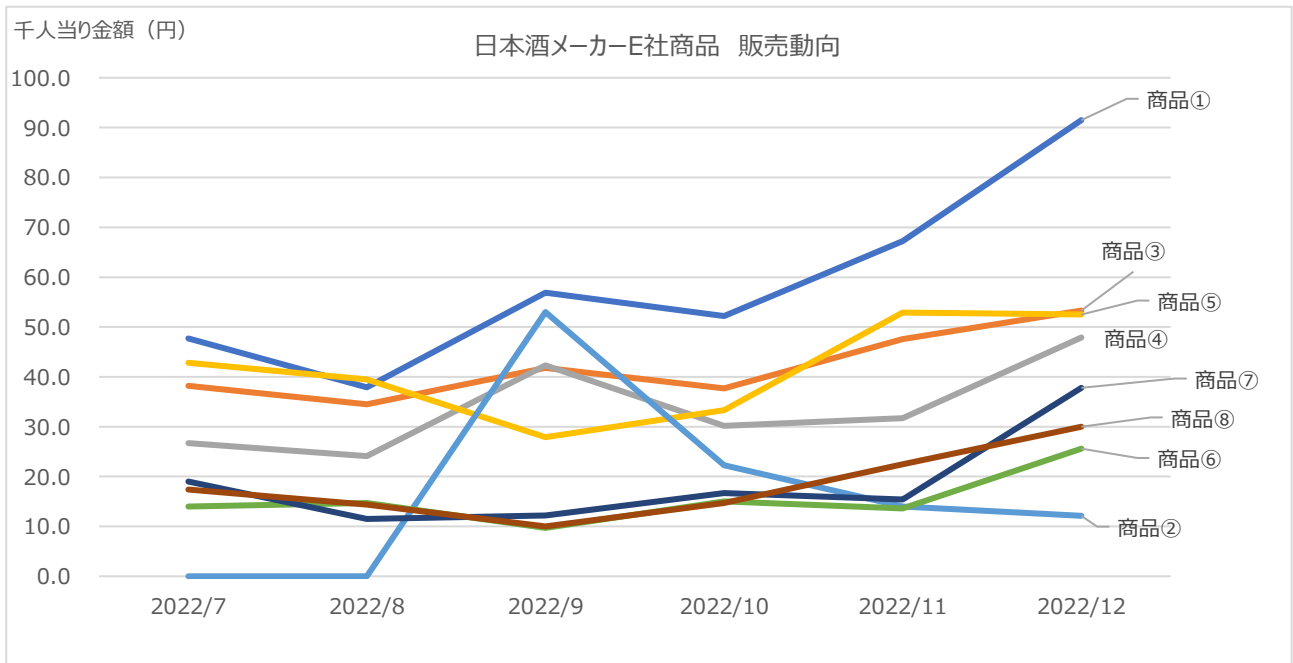
2018年に登場した新商品の「商品②」は、10月の販売が伸びたものの11月、12月と大きく下降している。



○日本酒関係

日本酒メーカーE社の日本酒関連商品については、10月以降、季節商品である「商品②」を除く商品の売り上げが伸びてきている。特に純米酒720ml商品である「商品①」の伸びが顕著である。

販売額が下位となっていたスパークリング系の「商品⑥」、「商品⑦」についても販売額が上昇傾向となっている。



4. まとめ

小売物価統計調査 小売物価統計調査(動向編)における小売価格の変動調査では、小麦粉関係、鶏卵、食用油等に価格の上昇がみられる。特に食用油に著しい価格上昇がみられる。

インフラ関係では、電気、ガスは上昇傾向にあり、灯油、ガソリンには政府の補助金の効果と考えられるが、価格の上昇はみられない。

県庁所在地別 1世帯あたりの支出金額の順位比較では、常に上位の支出となっているのは、まぐろであり他県に比べて支出金額が高いことが分かる。対して牛肉は常に順位が下位となっている。

ぶどうは出荷がピークとなる7-9月期では全国トップの支出金額となっている。桃についても7-9月期では3位と上位になっている。

清酒、飲酒代は全国で最下位レベルとなっている。一方でワインは徐々に順位を上げており、7-9月期では16位となっている。

ハンバーガーが堅調であることが甲府市の特徴の一つと言えるかもしれない。

POSEYES データを用いた、土産物として購入されると思われる商品の販売傾向調査では、和菓子は堅調な売り上げを示すメーカーと販売額が大きく変動するメーカーがあることが分かる。

ほうとう関連商品も変動が大きく、新しい特産品とされる商品は販売がやや低調となっている。

日本酒は季節性の強い商品を除いて販売額が右肩上がりとなっている。

以上